

下水道エネルギー拠点化コンシェルジュ事業 募集要領

1. 目的

下水道分野では、日本全体の排出量（約12.5億t-CO₂）の0.5%（約600万t-CO₂）に相当する温室効果ガスが排出されている。排出量の内訳としては、処理場における電力消費量（約75億kWh）が約55%を占めており、ポンプ場での電力消費、燃料使用を合わせると、全体の約66%に相当する。下水道分野で排出される温室効果ガスの排出量は、地方公共団体の事務事業から排出される温室効果ガスの中でも大きな割合を占めており、下水道事業の脱炭素化の取組が急務である。

国土交通省では、脱炭素社会の実現に向けて、下水汚泥のエネルギー・肥料利用、熱利用、燃料利用の推進を目的とした技術開発や施設整備支援、技術ガイドライン等の整備・普及に取り組んできた。しかし、令和元年度末時点で下水道バイオマスリサイクル率は34%にとどまっており、2050年カーボンニュートラルに向けて、更なる取組の促進が必要と考えている。国土交通省では、脱炭素社会の実現に貢献する下水道の将来像を定め、関係者が一体となって取り組むべき総合的な施策とその実施工程表を「脱炭素社会への貢献のあり方検討小委員会報告書」としてとりまとめたところ、脱炭素・循環型社会への転換を先導する「グリーンイノベーション下水道」を目指し、今後、下水道管理者である地方公共団体等の関係者が、下水道の有するポテンシャルの最大活用、温室効果ガスの積極的な削減、地域との連携といった更なる取組を図ることが期待されている。特に、生ごみ、剪定枝、刈草等の地域バイオマスの下水処理場への集約・利活用による、下水道を核としたバイオマスステーション化やエネルギー拠点化の取組は、地域の循環型社会形成に貢献するとともに、下水道の付加価値を向上させ、下水道事業の持続性確保にも寄与できるものである。

そこで、これらの取組に前向きな地方公共団体が、各地域のバイオマス利活用や汚泥処理等における課題整理、解決方法としての下水熱を含むエネルギー利用の検討、廃棄物行政との連携等を行うにあたり、コンシェルジュによる助言の機会を提供することによる、地方公共団体が主体的となった下水道資源・エネルギー利用の推進を目的として、本事業を実施する。

2. 事業内容

(1) 事前ヒアリング等による現況、基礎情報等の整理

支援対象団体（本事業に応募し、採択された地方公共団体。以下同じ。）は、事務局によるヒアリングや専門家を交えたディスカッション等を通して、検討状況（検討経緯、地域のニーズ及び方向性）、地域バイオマス等の利用可能な資源の状況、今後の地域における取組等を検討するうえで必要な基礎情報等を整理し、実施時期や実施方法等を調整する。

(2) コンシェルジュによる助言の実施

① 実施時期・方法

2022年6月～2023年1月頃を目途に、訪問による会議とオンライン会議を組み合わせる助言を行う。少なくとも1回は訪問による会議及び現地視察を実施する。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、訪問による会議等が実施できない可能性も想定しています。

② 実施内容

支援対象団体が持つ課題とニーズに応じ、事務局と協議の上、各支援対象団体に対し複数回、検討内容に応じたコンサルジュによる助言を実施する。例えば、地域バイオマスの活用を検討している場合には、初期の案件発掘段階における、地域バイオマスの整理、事業化に向けた体制、検討スケジュールについて助言を行う。下水熱の利用を検討している場合には、事業化に向け検討すべき観点やスケジュールの他、必要に応じて、ポテンシャルマップの作成に関する助言も行う。

＜コンサルジュ助言の実施イメージ（例）＞

○初回会議（地域における課題整理）

- ・地域バイオマス集約の検討状況や地域の基本情報を踏まえ、取組に当たっての実現可能性や課題等を整理する。 等

○第2回会議以降（課題の解決策の検討、今後の地域における取組の方向性検討）

- ・前回会議で整理した課題に対する解決策や今後の地域における取組の方向性等について、支援対象団体による整理・検討を踏まえ、コンサルジュとともにディスカッションを実施し、今後の取組の方向性（ロードマップ等）を整理する。 等

3. 募集対象

下水処理場におけるバイオマスステーション化やエネルギー拠点化等に係る以下のいずれか（もしくは両方）の取組（以下、本取組）を検討している地方公共団体を対象とする。なお、複数の地方公共団体による応募も可能とする。

- ① 下水処理場における地域バイオマス受入を起点として、汚泥・エネルギーの有効利用（メタン発酵、堆肥利用等）、廃棄物行政との連携（生ゴミ等受入、エネルギー融通等）、災害時における地域のエネルギー供給・融通等の取組（複数の地方公共団体による広域的な取組も含む）
- ② 下水や処理水等、下水道施設を活用した下水熱利用

なお、コンサルジュによる助言の実施にあたっては、地方公共団体が主体的な取組の検討に向けた体制を自ら構築しつつ、極力下水道部局のみでなく、地域バイオマスをはじめとした資源の有効利用に係る他の部局（環境部局、農林水産部局等）も同席するディスカッションを開催することを想定する。

支援対象は10件程度を予定しており、支援対象とする団体は7. (1) のとおり審査の上決定する。

4. 応募書類の記載方法

(1) 様式1 応募申請書

応募にあたっては、別紙の「様式1 応募申請書」の項目に従って記入する。記入項目は以下の通り。

- ① 応募者の基本情報（団体名、担当者氏名、担当者連絡先（電話、E-mail））

※個人情報の取扱いは本書5ページに記載の通り。

※複数の地方公共団体による応募の場合は、代表となる地方公共団体の担当者について記載すること。

- ② 応募に至った経緯及び下水処理場等における地域バイオマス受入等の検討状況
- ③ 抱えている課題・対応策の検討状況及びディスカッションの実施イメージ
- ④ 応募団体の基礎情報

(2) 参考資料

必要に応じ、検討している下水処理場等におけるバイオマスステーション化やエネルギー拠点化等に係る取組内容や、脱炭素化に向けた方針、検討状況等が分かる資料を添付する。(様式自由)

5. 募集期間

(1) 募集期間

令和4年5月16日(月)～6月17日(金)

(2) 募集締切

令和4年6月17日(金) 17:30 必着

6. 応募書類の提出方法

(1) 提出方法

応募書類は以下の形態により、電子メールにより提出する。ただし、電子メールによる提出ができない場合、郵送により送付して構わない。その際、その旨を応募書類提出時に申し添えること。

- ・様式1 応募申請書：Microsoft Word 形式
- ・参考資料：Microsoft Word 形式、Microsoft PowerPoint 形式、pdf 形式のいずれか

(2) 提出先及び問合せ先(委託先)

「下水道エネルギー拠点化コンシェルジュ事業」事務局

エム・アール・アイ リサーチアソシエイツ株式会社 サステナビリティ事業部

〒100-0014 東京都千代田区永田町二丁目10番3号 東急キャピトルタワー

Tel: 03-6858-0156

(受付時間：月曜日-金曜日(祝日・休業日を除く) 10時-12時、13時-17時)

E-mail: application-concierge@ml.mri-ra.co.jp

※新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言発令中の期間においては、事務局がある事業所は閉鎖しておりますため、メールによる提出・問い合わせをお願いいたします(必要に応じてお電話での対応は可能ですので、メールに担当者の電話番号も記載いただくようお願いします)。

7. 応募にあたっての留意事項

(1) 応募者の審査・選定

- ① 地域バランスも考慮の上、検討している地方公共団体の本取組の検討に対する意欲、内部での検討体制及び取組内容の具体性等の観点から支援対象団体を選定する。
- ② 審査・選定にあたり、応募があった団体に対して事務局又は国土交通省から問い合わせを行う場合がある。
- ③ 審査・選定終了後、個別に採否を電子メールにて連絡する。なお、審査・選定結果に関する問い

合わせは受け付けない。

(2) 支援内容の公表

支援を行った団体については、その団体名や本事業において実施した支援の概要について公表される。但し、応募者（担当者）の個人情報には公表しない。

(3) 費用の負担

助言の実施のために支援対象団体を訪問する場合、必要な交通費・旅費及び助言を実施する有識者等への謝金はすべて国土交通省が負担する。

助言の実施にあたり、支援対象団体に訪問を行う場合の必要な会場の確保・準備等及び必要に応じた資料の準備（支援対象団体の取組状況等に係る資料の作成、助言の実施時に配布する資料の印刷等）、助言の実施にあたり必要な支援対象団体の情報提供は、支援対象団体が行うものとする。

8. 公募説明会

今回公募する内容について説明会を以下のとおり開催する。

名 称：「令和4年度 下水処理場におけるエネルギー消費分析、省エネルギー対策の実施支援事業」及び「令和4年度 下水道エネルギー拠点化コンシェルジュ事業」に関する公募説明会

日 時：第一回 令和4年5月20日（金） 15時~16時
：第二回 令和4年5月27日（金） 15時~16時

開催形式：Zoom ウェビナー（チャット機能にて質問可）

次 第：

- 脱炭素関連動向について
- コンシェルジュ事業について
- 省エネ診断事業について
- 質疑

参加方法：下記アドレスより参加登録を行い、参加してください。

(第一回) https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_Rz1Sz-SVQ9ucdxqrP-L3-Q

(第二回) https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_Cp8qa5R6QYGj2v4UYY3vSw

※各地方公共団体の下水道担当者のみを対象とします。

申し込み名称は「"自治体名" + "担当者名"」（例）「東京都 山田」としてください。

以上

個人情報のお取り扱いについて

「下水道エネルギー拠点化コンシェルジュ事業」（以下「本事業」という。）は、国土交通省からの業務委託によりエム・アール・アイ リサーチアソシエイツ株式会社が事務局を務めております。

本事業へのご応募を希望される方は、以下の「個人情報のお取り扱いについて」にご同意いただいた上で、応募申請書（様式1）にご記入いただき、メールにてお申し込み下さいますようお願い致します（なお、法律上の責任（機密性等）は、当社のメールサーバでデータを正常に受信処理した時点から発生します）。

【個人情報のお取り扱いについて】

- (1) ご記入いただきました個人情報は、「様式1 応募申請書」に関する記載内容の照会、審査・選定結果の連絡及び本事業の運営管理の目的に利用させていただきます。
- (2) ご記入いただきました個人情報は、必要なセキュリティ対策を講じ、厳重に管理致します。
- (3) ご記入いただきました個人情報は、(1)に記載した目的のために、その全ての項目を弊社の業務委託元である国土交通省と、本事業において弊社と共同企業体を構成する公益財団法人日本下水道新技術機構にメール（application-concierge@ml.mri-ra.co.jp）にて提供致します。
- (4) ご記入いただきました個人情報は、委託業務終了（令和5年3月17日）後、エム・アール・アイ リサーチアソシエイツ株式会社管理分においては、弊社が責任をもって廃棄します。

【個人情報の取扱いに関するご連絡先、苦情・相談窓口】

※開示、訂正、利用停止等のお申し出は、下記窓口までご連絡ください。

エム・アール・アイリサーチアソシエイツ株式会社 総務部

FAX：03-3502-1330

E-mail：privacy-report@mri-ra.co.jp

お問合せフォーム：<https://www.mri-ra.co.jp/>

【弊社の個人情報保護管理者】

エム・アール・アイ リサーチアソシエイツ株式会社 総務部 田中清一

E-mail：privacy-report@mri-ra.co.jp

◆弊社の「個人情報保護方針」「個人情報のお取り扱いについて」をご覧になりたい方は <https://www.mri-ra.co.jp/privacypolicy.html> よりご覧ください。又、ご請求いただければお送り致します。

お問合せ番号： P22-65010031